

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年12月19日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【エンジンコンプレッサー燃料タンク給油口からの軽油漏えいについて】</p> <p>原子力運転検査官が、研修棟西側道路において、道路整備工事で使用しているエンジンコンプレッサー燃料タンク給油口から、燃料の軽油が漏えいしていることを確認。</p> <p>調査の結果、エンジンコンプレッサーについて次の状況であったことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リース品であり、借り受けた際に燃料が給油口付近まで満タン以上になっていた。</li> <li>・傾斜のある場所に設置した。</li> <li>・オイルパン(油受け)が設置されていなかった</li> </ul> <p>なお、滴下漏えいした軽油は排水路へは流出しておらず、漏えいした軽油は吸着マットで回収済み。</p> <p>今後、再発防止対策として次の事項を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・借り受け時に燃料の給油状態を確認し、満タンの状態にしない。</li> <li>・設置の際は水平度を確認する。</li> <li>・オイルパン装備の機器を使用するか、オイルパンまたは堰を設置する。</li> </ul>	G II	12月9日
2	<p>【6号機タービン補機冷却水系熱交換器(A)海水側ベント弁のシート漏えいについて】</p> <p>当社運転員が、パトロールにおいて6号機タービン補機冷却水系熱交換器(A)海水側ベント弁のシート漏えいを確認。</p> <p>当該弁のシート漏えいは、にじみ程度であり系統運転に問題なし。</p> <p>今後、当該弁の点検手入れまたは交換を実施する。</p>	G III	12月14日
3	<p>【6号機タービン補機冷却水系熱交換器(B)海水側ベント弁のシート漏えいについて】</p> <p>当社運転員が、パトロールにおいて6号機タービン補機冷却水系熱交換器(B)海水側ベント弁のシート漏えいを確認。</p> <p>当該弁のシート漏えいは、にじみ程度であり系統運転に問題なし。</p> <p>今後、当該弁の点検手入れまたは交換を実施する。</p>	G III	12月14日
4	<p>【ろ過水・純水設備汚泥供給ポンプ(B)の動作不良について】</p> <p>当社社員が、ろ過水・純水設備汚泥供給ポンプ(B)の交換後の試運転において、出口圧力が上昇しないことを確認。</p> <p>調査の結果、ポンプ入口配管のフランジ部のパッキンおよびライニング(※)が経年劣化し、配管を閉塞させていることを確認。</p> <p>なお、(A)系のポンプは運転可能であり、系統機能への影響はない。</p> <p>今後、入口配管の交換を計画する。</p> <p>※ライニング: 配管内面腐食保護のための皮膜処理</p>	G III	12月14日
5	<p>【5号機原子炉建屋最上階の天井クレーン吊りフックと燃料取替機補助ホイストの接触について】</p> <p>協力企業作業員が、5号機原子炉建屋最上階の照明器具取替に伴い、天井クレーンを使用し現場を調査中、天井クレーンの吊りフックを燃料取替機の補助ホイストに接触させた。</p> <p>現場を確認し、クレーンの吊りフック、燃料取替機、補助ホイストに異常がないことを確認。</p> <p>今後、再発防止対策を検討する。</p>	G III	12月14日